

『五香護岸災害復旧工事の施工管理について』

五香護岸災害復旧工事

株式会社 共立土建

現場代理人 長谷川 雅也

監理技術者 長谷川 雅也

1. はじめに

本工事は、平成 29 年 10 月の台風 21 号出水により被災した護岸を復旧する工事です。本報告では、近接関連工事として宮古弱小堤防対策その 6 工事があるため合同連絡会を設立し、土砂の搬出・受入れについて災害防止・工程管理・施工順序・運搬経路などの施工管理の取組について報告するものです。

2. 工事概要

工事場所 : 福島県河沼郡会津坂下町五香 地先 (阿賀川左岸 11.0k 付近)

工 期 : 平成 30 年 5 月 29 日 から
平成 31 年 3 月 28 日 まで
(304 日間)

工事内容 : 阿賀川の護岸災害復旧工事 復旧延長 L=121.92m

河川土工 掘削工 V=3600m³

盛土工 1 式

コンクリートブロック工 (間知ブロック張) A=1366m²

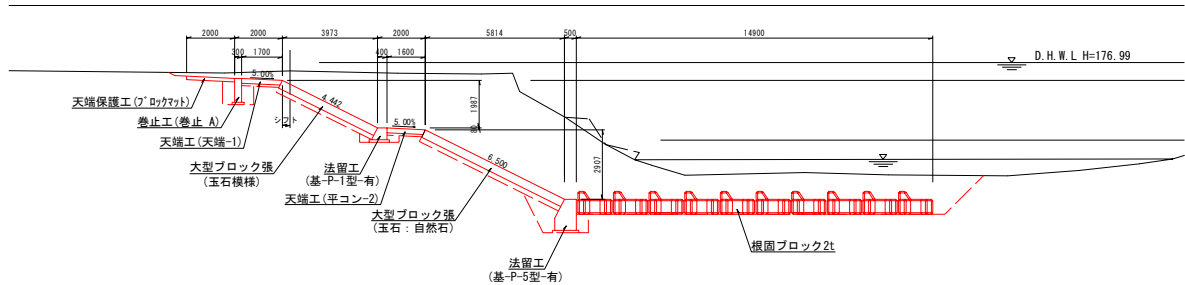
根固・水制ブロック 2t 1403 個



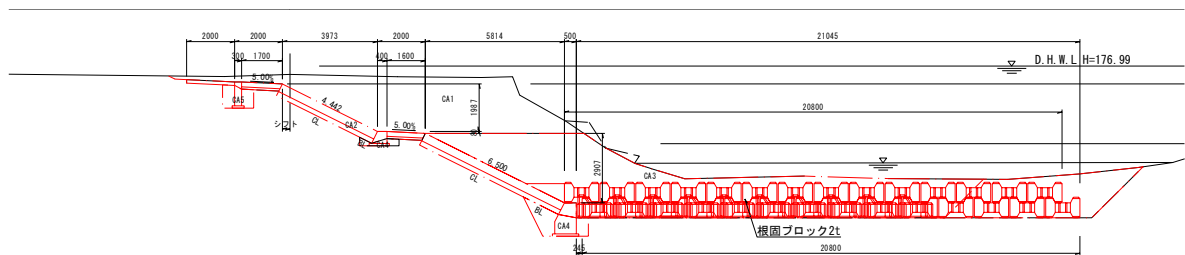
施工箇所

位置図

(標準部)



(水制部)



標準横断面

3. 合同連絡協議会

本工事は近接工事が有り、短期間での施工となる為、お互いの工程計画が重要視されることから、五香・宮古合同連絡協議会を設置し、定期的に会議を行うことで、両工事の災害防止及び、土砂の運搬・土砂の受入れを円滑に行うための問題点等について共有し、対策を行った。

4. 対策 等

工事連絡会議では、現場代理人、各下請け業者の職長が集まって、工事の進捗・今月の工事内容・土砂の運搬ルート・誘導員の配置・安全管理・問題点などについて話し合い解決した。

1. 工事の進捗について

現場の状況が常にわかるように双方の現場にカメラを設置し、何時でもパソコンや携帯で確認できるようにして、瞬時に現場対応することができるようにした。



監視カメラ設置



モニターでの確認

2. 小型無人航空機の活用

小型無人航空機による写真を撮影することで、現場全体の災害状況や河川の状態などを把握することができ、工事の打合せにも役に立たせることが出来た。工事施工中にも定期的に小型無人航空機で写真を撮ることで、現場全体の施工状況が明確となり、打合せ等で工事現場を確認することができてスムーズに工事を進めることが出来た。



2.-1 施工前の現場状況

「河川内の着手前の全体を把握する事で、仮設計画及び土砂の搬出ルート等の計画立案が密に可能となった」



2.-2 施工中の現場状況

「施工中も全体を確認し、計画通り施工できているかの確認や、施工の打合せに利用して円滑な施工ができた」

3. 土砂の運搬ルート

運行マップを作成し、土取り場から坂路までや、施工ヤード内の通行方向、ダンプトラックの待機場所等を周知することで、現場内もスムーズに通行することが出来た。

4. 日々の土砂運搬・受入

毎日の始業前に運搬台数の確認、昼にお互いの施工状況、終業時に明日の運搬台数の再確認を実施した。結果、土砂運搬ダンプトラックの待ち時間も無く、宮古弱小堤防対策その6工事の盛土作業も円滑に作業出来た。

5. 災害防止対策

五香護岸災害復旧工事での土砂運搬、宮古弱小堤防対策その6工事の土砂受入・盛土工事については、合同で施工方法や土砂運搬ルート、施工方法、施工上の災害防止対策重点事項等の教育を行いそれぞれの問題等を共有した。

5. まとめ

これらの対策等を行うことにより、施工が円滑になり、見えない危険の見える化が図られて情報交換ができるような仕組みを作ることが出来た。

万全の準備・施工管理・迅速な計画の修正等を行うことで、お互いの工事で余裕が生まれ安全に工事を進められ、無事故無災害で工期内に完了することが出来た。